

夢に向かって生きる



大和北小だより

R4. 6. 24

なぜ大和は「古今伝授の里」「和歌のまち」なのだろうか

6月8日、4・5年生の児童は、総合的な学習の時間に東氏についての学習をしました。古今伝授の里フィールドミュージアムの松原さんに講師として来ていただき、東氏と関わる“大和のまちおこし”の歴史についてのお話を聞きました。子どもたちの中で、自分たちがくらしている大和という土地が、“和歌のまち大和であること”につながる時間になりました。



【松原さんのお話を聞いて ～児童のメモより～】

40年前 農業がさかんだった。 高速道路もピオもなかった。

名古屋の人に聞いても「大和ってどこ？」大和を全く知らない。大和は特ちょうのないまちだった。田んぼだった場所から東氏の庭の跡が発見された。国の文化財に指定された。宝物に気づいた。



東氏がつくった妙見神社。東氏9代目 東常縁は和歌の研究者。

50歳を過ぎてから短歌の才能にめざめた。

大和は“和歌のまち”づくりをはじめた。まちの宝物＝短歌のまち。

大和の小中学校では、児童生徒が短歌をよむことをはじめた。

40年間の変化 大和の特徴をわかってもらえるようになった。

「大和といえば“短歌”、歌のまち」

いろいろなところから訪れるお客さんが、このまちをほめてくれる。

まちに対する誇りが生まれる。

まちおこしに携わってきた人の思いに触れ、今、自分たちが日頃から短歌に親しんでいる理由を見つめたり、住民が誇れるふるさとを築いてみえた先人の願いや取組を知り、感謝の思いをもてたりするような学習となりました。

【児童の感想より】

○松原さん ありがとうございます。

東常縁が、和歌の研究者であって、フィールドミュージアムが昔は田んぼだったことを初めて知りました。

○和歌は城を取り返すほどの力をもって、「和歌ってすごいな」と思いました。

○40年前は高速道路もピオもなく、フィールドミュージアムの池のところは田んぼだったと初めて知りました。

大和の宝が短歌だということもはじめて知りました。

○40年前、大和は特ちょうのない町だったのに、今では「住みたい」という人がいるなど、大和のよさをわかってもらえて自分もうれしくなりました。

○今日、40年前のことやフィールドミュージアムのことをたくさん知れて楽しかったし、まちの人たちが、40年前の特ちょうがなかったまちを、たくさんの特ちょうがあるまちに変えてくれたので感謝したいと思いました。

この時間に学んだことをもとに
子どもたちが詠んだ短歌です

わたしはね 短歌の町で うまれたよ
思い出っばい しあわせものだ さきみ

短歌とは 人をもかえる すごいもの
いつまでもずっと 短歌はつづく ゆうき

大和には 宝いっばい ねむってる
短歌は大和の 宝ものだよ らいた

町おこし 町の人々 努力して
変えてくれたよ 守りつづける いちか

大和町 短歌の歴史 宝物
昔の人から 受け継いでいく さわ

常縁の 宝がいっばい 大和町
東氏おさめた わが和歌の里 そうた

大和町 大和の宝 短歌だよ
大人になっても 大事にするよ りつ

ありがとう たんかのきもち わかったよ
これからずっと だいじにするね ゆうか

自分たちがくらしている地域を誇れるってすばらしいことです。

ふるさとを築いてきた先人に感謝の思いをもてるって素敵なことです。

東氏やまちづくりに関わる学習は、これからも続きます。子どもたちがどんなことに気づき、何を感じ、考えていくのかが楽しみですし、その学習を通して、自分たちがくらしている地域を大好きになってほしいと願っています。

❀ 6/14【3年生】大豆の苗を植えました。

JAの「まめなかな運動」(食農教育活動)のおかげです!

1・2年生もお世話になっている“畑の先生”「JA めぐみの」の野田さんと國枝さんに来ていただき、大豆の種をまきました。

この体験は、理科の植物の成長の学習や国語の「すがたをかえる大豆」の勉強にもつながります。約1週間で芽が出て、ぐんぐん伸びる大豆の成長を子どもたちは大喜びで見守っています。



お礼の手紙

(野田さん、國枝さんへ)

今日、大豆のうえ方をおしえてくれてありがとうございました。豆まきの時に時に「ここをこうするといいよ。」「このくらいまで穴をほってね。」とおしえてくださり、ありがとうございます。水をやったりかんさつをしたりして大切に育てます。

❀ 6/15【5年生】社会見学「岐阜車体工業」「アクアトト」

大和第一北小学校の子たちと一緒に行了きました。

大和第一北小学校の5年生と一緒に、社会見学に行きました。「岐阜車体工業」とは、各務ヶ原市にある自動車製造業者で、ハイエースやコースター(マイクロバス)、救急車を組み立てている工場です。教科書やインターネットでの学習にとどまらず、本物に触れる体験は、やっぱりすばらしい学習になりました。

アクアトトでは、南米アマゾン川に住む巨大魚ピラルクにびっくり。4年生で川の学習をしていますが、その時の学習ともつながる社会見学となりました。

また、大和第一北小学校の子たちと一緒に行けて仲よくなれたことも、とてもうれしかったようです。



❀ 6/17【4年生】みんなの宝長良川「あゆパークで学ぼう！」

4年生は、総合的な学習の時間に「清流長良川と環境」についての学習をします。「長良川と人々のくらしとのつながりが世界農業遺産に指定されていること」などを学ぶと共に川の楽しみ方、安全のために正しく道具を使って遊ぶことの大切さを学びました。



(児童の感想より)

長良川にいる魚は100種類以上と知ってびっくりしました。そして7月第4週目の日曜日は“鮎の日”だと初めて知りました。川で飛び込みをしたとき、こわくていたかったけど、とても楽しかったです。また休みの日に家族や友達と一緒に行きたいです。

教室での授業で学習していることが、自分たちがくらししている人間社会や、自分たちを取り巻く自然環境につながっていることを実感できる、こういった学びを、これからも大切にしていきます。

大人も同じですが、世の中のことを深く知り、自分が知っている世界を広げるってオモシロイことです。

“学ぶ”って楽しいことです。

夢や目標に向かってがんばる北っ子

第19回 斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール 優秀賞(4年)杉下千夏

入選(2年)玉木紫野

第32回 中日旗中濃小学生バレーボール大会 優勝(6年)川端悠人(八幡デッチーズ)

土岐スポーツ交流大会 準優勝(6年)川端悠人(八幡デッチーズ)

第34回 わんぱく相撲 郡上場所 2年生の部 第3位(2年)木島春哉

第1回 冒険キッズカップ U-12 優勝(6年)丹羽壱斎

めぐみのカップ 少年サッカー大会 Dクラス 第3位(3年)佐藤成夏

第66回中日旗争奪郡上市少年剣道選手権大会 小学生団体の部 準優勝

大和剣道スポーツ少年団(6年)森前珀志(5年)古田紗羽(5年)廣野莉子(4年)佐藤玖龍

第66回中日旗争奪郡上市少年剣道選手権大会 小学生5年の部 準優勝(5年)古田紗羽

第66回中日旗争奪郡上市少年剣道選手権大会 小学生5年の部 第3位(5年)廣野莉子

第66回中日旗争奪郡上市少年剣道選手権大会 小学生4年の部 準優勝(4年)佐藤玖龍